

# 近代 自由民権運動と立憲国家

## 1999 年度 第 1 問

B 次の史料Ⅰ～Ⅳは、それぞれの時代に人々が抑圧からの解放を求めて展開した様々な抵抗運動に関するものである。

Ⅲ 一、高利貸のため身代を傾け、目下生計に苦しむもの多し。よって債主に迫り、十ヶ年据置き四十ヶ年賦と延期を乞う事。

- 一、学校費を省くため三ヶ年間休校を県庁へ迫る事。
- 一、雑収税の減少を内務省に請願する事。
- 一、村費の減少を村吏へ迫る事。

(秩父事件「田代栄助尋問調書」)

問6 史料Ⅲに関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① この事件の指導者の中には、自由党とかかわりをもつものもいたが、立ち上がった多くの農民たちは、一般に困民党とよばれていた。
- ② この事件の前後には、加波山事件、飯田事件など、自由党員を主力とする一連の激化事件がおこっている。
- ③ このような運動の急進化と政府の懐柔政策によって、自由党内には分裂がおこり、自由党は解散を決議した。
- ④ 国会開設が近づくと、民権派内部には大同団結運動がおこり、地租軽減、言論集会の自由、軍事費の削減を求める三大事件建白運動が展開された。

## 1999 年度 第 5 問

A 次の年表は、衆議院議員選挙法における選挙人資格の変遷を示したものである。

	公布年	内閣名	性別・年齢	納税資格
I	1889 年	甲	男子 25 歳以上	直接国税 15 円以上
II	1900 年	第二次山県有朋内閣	男子 25 歳以上	直接国税 10 円以上
III	1919 年	原 敬 内 閣	男子 25 歳以上	直接国税 3 円以上
IV	1925 年	第一次加藤高明内閣	男子 25 歳以上	制 限 な し
V	1945 年	幣原喜重郎内閣	男女 20 歳以上	制 限 な し

問 1 甲に入る内閣名ア～ウと、その内閣に関する説明文 a～c の組合せとして正しいものを、以下の①～⑥のうちから一つ選べ。

内閣名

- ア 第一次松方正義内閣      イ 黒田清隆内閣      ウ 第一次伊藤博文内閣

説明文



B 北海道と沖縄は、明治維新以降独特の近代化過程をたどった。箱館戦争で旧幕府軍を打ち破った明治政府は、<sup>(d)</sup>1869年開拓使を設置し、1886年には北海道庁を置いて北海道の開発を進めた。その結果、先住民族アイヌの固有の文化は大きく破壊された。かつて開拓使の長官であった「ウ」が首相の時に大日本帝国憲法が公布され、同時に衆議院議員選挙法も公布されたが、北海道での施行は10年以上遅れた。

一方、琉球に対しても、政府は1879年に軍隊を派遣して、沖縄県の設置を強行した。しかし沖縄県においては長らく旧慣を温存する政策が採られたため、「エ」などが県会設置や国政参加を求める運動を展開したが、そうした<sup>(e)</sup>近代の諸制度の整備は大幅に遅れた。その後も沖縄は、太平洋戦争下ではおよそ10万人の非戦闘員の死者を出し、戦後も長らくアメリカの占領下に置かれるなど、苦難の道をたどった。アメリカからの<sup>(f)</sup>返還が実現したのは、1972年になってからであった。

問5 空欄「ウ」「エ」に入る人物の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |   |      |   |     |
|---|---|------|---|-----|
| ① | ウ | 黒田清隆 | エ | 謝花昇 |
| ② | ウ | 黒田清隆 | エ | 尚泰  |
| ③ | ウ | 伊藤博文 | エ | 謝花昇 |
| ④ | ウ | 伊藤博文 | エ | 尚泰  |

問7 次の年表は、下線部(e)に関連して沖縄で実施された事項を示したものである。この年表中のⅠ・Ⅱの時期に関して述べた文ア～エについて、正しいものの組合せを、以下の①～④のうちから一つ選べ。

1899年	沖縄県において土地整理事業(地租改正)開始
Ⅰ	
1909年	沖縄県において制限付きで府県制施行
Ⅱ	
1912年	沖縄県において衆議院議員選挙法施行

- ア Ⅰの時期には、府県制・郡制が公布された。  
 イ Ⅰの時期には、中央政界において立憲政友会が結成された。  
 ウ Ⅱの時期には、清国からの賠償金をもとに金本位制が確立された。  
 エ Ⅱの時期には、朝鮮に朝鮮総督府が設置された。

- ① ア・ウ                      ② ア・エ                      ③ イ・ウ                      ④ イ・エ

## 2003年度 第5問

A 松山守善は19世紀後半に自由民権家として活動した。このころ熊本には、不平士族の集団である神風連に属する人々から熊本バ



えした政府は、政党の力を利用して軍備拡張予算案を成立させようとした。この流れのなかで、衆議院内の二大政党が合同して、新内閣を組織することになった。松山守善たち地方の政党员はこの内閣に大きな期待を寄せた。

上京した松山は、大隈重信首相に熊本県の政治状況を詳しく説明して、<sup>(a)</sup>知事の更迭を要求した。これに対し大隈は、「熊本は官僚の苗床なればこれを撲滅せねばならぬ。君ら委細のことは板垣に協議すべし。」と答えた。この時、松山たちの相談役を務めていたのは、東京で民友社を主宰していた「工」であった。

問4 空欄「ウ」「工」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |   |      |   |      |
|---|---|------|---|------|
| ① | ウ | 国粹主義 | 工 | 高山樗牛 |
| ② | ウ | 国粹主義 | 工 | 徳富蘇峰 |
| ③ | ウ | 超然主義 | 工 | 高山樗牛 |
| ④ | ウ | 超然主義 | 工 | 徳富蘇峰 |

問6 下線部(d)に関連して、知事を監督した内務省や内務大臣について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 第二次世界大戦後の改革の過程で、内務省は廃止された。
- ② 第1次大隈内閣の内務大臣を務めたのは、板垣退助であった。
- ③ 内務省の権限を縮小するために、第2次山県内閣は文官任用令を改正した。
- ④ 第1次松方内閣の内務大臣品川弥二郎は、選挙干渉の指揮をとった。

## 2005年度 第5問

A

1890年12月、第1議会の施政方針演説で、首相「ア」は、「列国ノ間ニ介立シテ一國ノ独立ヲ維持スルニハ、<sup>ひとり</sup>独主権線ヲ守禦<sup>しゆぎよ</sup>スルノミニテハ、決シテ十分トハ申サレマセヌ。必ズ亦<sup>また</sup>(a)利益線ヲ保護致サナケレバナラヌ」と述べ、内閣は軍備拡張予算を提出した。「主権線」とは国土を指し、「利益線」とは「主権線ノ安危ニ密着ノ関係アル区域」を指している。

衆議院は、立憲自由党、立憲改進黨などの民党が多数を占めていた。民党は、「経費(政費)節減」、「イ」をスローガンに、軍拡予算に反対した。

<sup>(b)</sup>こうして政府と民党との対立は、日清戦争直前の第6議会まで続いた。しかし、開戦と同時に、民党は政府批判を中止して巨額の軍事予算案を承認し、<sup>(c)</sup>政府に批判的だった新聞・雑誌も戦争遂行に同調した。

問1 空欄「ア」「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |   |      |   |      |
|---|---|------|---|------|
| ① | ア | 寺内正毅 | イ | 民力休養 |
| ② | ア | 寺内正毅 | イ | 大同団結 |
| ③ | ア | 山県有朋 | イ | 民力休養 |
| ④ | ア | 山県有朋 | イ | 大同団結 |

問2 当時、下線部(a)とみなされていた主な地域として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 朝鮮                      ② 台湾                      ③ 樺太                      ④ 内蒙古

問3 下線部(b)に関して、この時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 立憲同志会が結成された。  
② 衆議院議員選挙人の納税資格が、直接国税3円以上に引き下げられた。  
③ 政府による激しい選挙干渉が行われた。  
④ 朝鮮で、壬午軍乱(壬午事変)が起こった。

B

護憲三派の連合内閣である加藤高明内閣から犬養毅内閣まで、<sup>(a)</sup>「憲政の常道」に従って内閣が組織される<sup>(b)</sup>政党内閣の時代がしばらく続く。護憲三派内閣とそれに続く憲政会単独内閣では、幣原喜重郎が外相をつとめ、ワシントン体制の下で幣原外交とよばれる協調外交を展開した。

次に登場した<sup>(c)</sup>ウの田中義一内閣は、対中国強硬策を採ったが、関東軍が起こしたいわゆる満州某重大事件の事後処理を誤り、総辞職した。次いで組閣した<sup>(d)</sup>エの浜口雄幸は、再び幣原を外相に起用し、悪化した日中関係の改善につとめ、また、ロンドン海軍軍縮条約に調印した。野党・軍部などは、政府が軍令部の同意なしに兵力を決定するのは<sup>(e)</sup>統帥権干犯であるとして激しく攻撃したが、浜口内閣は反対派を抑えて条約の批准にこぎ着けた。

問8 下線部(f)に関連して、大日本帝国憲法で定められた天皇大権として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 緊急勅令の制定権              ② 法律・予算の審議権  
③ 文武官の任免権              ④ 宣戦・講和、条約締結権